



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

令和5年2月28日発行



『ラストスパート』

校長 中村 智

職員玄関の前に梅の木があります。今、白い可憐な花が満開です。体育館脇の駐車場には、アンズの木があります。毎年、梅が咲き終わり、桜が咲き始めるその前に、アンズの花は美しいピンクの花を咲かせます。つぼみが膨らんで、今年も間もなく花を咲かせそうです。『梅→アンズ→桜』白や薄ピンクの花のバトンパスです。

洋一小では、毎月、火災避難訓練、地震避難訓練、不審者侵入時対応訓練等、年間を通して計画的に行っています。2月は火災避難訓練でした。火災避難訓練はこれまで発災の想定を替えながら5月、9月に実施しました。児童に予告して避難経路や避難方法を事前に指導し、その後、児童は訓練に臨み、終了後は、各学年、学級ごとに振り返りをして、指導をして改善につなげます。PDCA サークルと言われる、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）の流れです。

2月の火災避難訓練は、児童への予告なしで、中休みに実施しました。授業中であれば教師が近くにいる、その指示のもと避難することになりますが、中休みであれば近くに教職員がいない場合もあります。放送をよく聞いて、火災の発生場所、それに応じた避難経路、避難方法を自分で判断し、迅速に避難することが求められます。

このとき、学校図書館にいた児童たちの動きを、学校司書の秋山先生は次のように記録しています。

中休みに予告なしの火災避難訓練（家庭科室から出火の想定）があった。2年生から6年生まで14人の児童が来館していた。2年生を前にして6年生が後ろになり並んで避難した。ハンカチを口に当てて避難するようになった。図書委員の6年生と5年生がいてくれたおかげでスムーズに並んで避難できた。

これまでの訓練の経験を生かして、主体的に考え、安全に協力できたことが分かります。まさに一年間の訓練の積み重ねが生かされたと思います。

いよいよ3月を迎えます。次のページに記しているように、洋一小の子に育てたい資質能力の一つを「主体性」と考え、学習面では、これを育てるための手立てとして「振り返り」の充実を図ってきました。また生活面においては、避難訓練のPDCAのように一年間の積み重ねや経験を生かして、友達と良好な関係を築けたか、学校のルールや約束を守れたか、自分の役割を果たせたか等を振り返り、来年度につなげていきたいと思っています。そして『梅→アンズ→桜』白や薄ピンクの花のバトンパスのように、子どもたち一人ひとり、いろいろな花を咲かせてほしいと思います。

6年生は卒業までの登校日数はあと13日、1～5年生は修了式までの17日。春一番のような追い風に乗って、洋一小の皆さん、ラストスパート！